

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

縮小・丸投げでいいのか

市長の政治責任問う声も



市立病院問題の住民説明会が6月5日、東吾野公民館で開催され、一〇〇名を超える市民が参加しました。

説明会では本橋副市長から、経過説明と病院改革の方向が明らかにされました。経過説明では、「有

識者会議が示した方向に添って埼玉医大に指定管理者をお願いしてきたが、埼玉医大からは経営を受けることは困難との回答が示された。他の医療機関に働きかけてきたところ、靖和会から協議の受入の意向が示されたことから、靖和病院に指定管理をお願いする方向で協議に入っている。入院ベッドを19床の有床診療所とし、他については介護施設とリハビリなどを行いたい。ただし、介護施設については、県の許認可もあるので県との協議をすすめていく」というものです。

責任は誰にあるのか

参加者からは、「なにも決まっていないうま、靖和病院に丸投げでいいのか」「こうした事態を招いた責任者は誰なのか、はっきりさせてほしい」「市長の責任が大きいのではないか」など市長の責任を問う声が出され、「本部長の市長が変われば方針は変わるのか」の質問とともに「市長を変えろ!」のヤジも飛び交いました。

なぜ、経営効率が悪い19床なのか

また、「市はこれまで、19床の有床診療所は経営効率が悪いと

言ってきた。なぜ、そういう判断をしたのか。19床に縮小していいという人がどのくらいいるか、この場で問うてくれ」と詰め寄る場面もありました。

今までの医療ができるのか

ある女性からは、「靖和病院は高いと聞いている。これまでの

地方自治体本来の役割を

変えよう市政 守ろう市民生活

民主市政をつくる会は9日、「飯能市政を考えるつどい」を開催し、飯能市政の問題点を話し合い、市長選挙の争点と政策を論議しました。

出席者した業者代表



ように低料金で入院できるのか。外来も入院も今までのように利用できるのか。老人病院になってしまわないか」などの疑問の声も出されました。

こうした疑問や不安の声がたくさん出され、住民説明会は2時間を超えましたが、納得の回答は示されませんでした。

民主団体からは、「子ども医療費の年齢

拡大などの子育て支援、高齢者・障害者に優しいバリアフリーの街づくり」を求める声も寄せられました。

岩淵に住む女性からは、「私たちの地域だけ90%の県水が入っています。まんじゅうの麹菌も発酵しない。市民にだまっしてこうしたことを進めてきた市政は許せない」と怒りの声が出されました。

地方自治体本来の役割を

いま、人間の尊厳や基本的人権がないがしろにされるような政治的減免が必要だ。

労組代表からは、「市は市立病院を委託しようとしているがこれまでと同様な医療が低料金で提供できるか疑問だ」「今年から吾野、南高麗地域の学校給食室が統廃合され、これまでと同様の給食が提供できなくなっている」など批判の声が出されました。

なお、候補者については、告示一ヶ月前までには発表する方向で調整に入っています。

波 紋

石川県では空からたたくさんのおたまじやくしや魚が降ってきた話題になっています。テレビではこの珍現象が面白おかしくと

りあげられています。しかし世界では竜巻などが原因で、空から魚が雨のように降ってきたり、カエルや石炭が降ってきたなどの例はたくさんあつて怪奇現象でもなんでもないといいことです。でも梅雨空をながめていて、空からおたまじやくしや魚が降ってきたらと思うとぞっとします。何か天変地異が起こる前ぶれではないかと思う気持ちもわかるような気がします。空から魚が降ってきたほどではありませんが、飯能市が月三千元以上の子ども医療費を無料にするといっただいたのにはびっくりしました。たび重なる市民の要求にも「他にやることがある」と背を向けてきた沢辺市長です。どんな心境の変化があったのでしょうか。それとも「他にやること」がなくなってしまったのでしょうか。とくと聞いてみたいものです。

『11111来るよほじよめる』

発達障害等通級指導教室の取り組み

発達障害者支援法では、これまで制度の谷間におかれていて、必要な支援が届きにくい状態となっていた「発達障害」を「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であつてその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義し、支援の対象となりました。

この法律は、「発達障害」のある人が、生まれてから年をとるまで、それぞれのライフステージ（年齢）にあった適切な支援を受けられる体制を整備するとともに、この障害が広く国民全体に理解されることを目指すものです。

昨年、美杉台小学校で飯能市で最初の「発達障害・情緒障害通級指導教室」が設置され、養護教諭として長い経験をもつ先生が担当して、市内全域から子ども達が通っています。

ここでは、情緒の安定、コミュニケーションの訓練などをおこなう、いいところを伸ばすことも大切に行います。学校や保護者と連携をとりながら、一人一人の状況に合った指導計画をたて、週1・2回、児童と向き合っています。約90分の授業をおこないます。子ども達は、「ここに来るとほっとする」「こんなにかんばったことないよ」と言います。ゆっくりと1対1でかんばってできたことが、学級に帰ってもできたら、大きな自信につながるはずです。

発達障害の原因はまだよくわかっていませんが、現在では脳機能の障害と考えられていて、小さい頃からその症状が現れています。

日本共産党市議の

一般質問と質問時間の「案内」

6月18日(木)14・20

滝沢 修

1、区画整理問題

(1)岩沢北部・南部地区

住民への情報提供について

進めるにあたって、継続地区と除外地区の問題について

下水道の進め方について

(2)双柳南部地区

現状と今後について

新光地区について

(3)笠縫地区

佐瀬病院南から八高線までの道路と下水道について

2、福祉問題(1)厳しい暮らしから市民生活を

守るために

生活援助

資金の拡充について

父子家庭に援助を

学童クラブの補助金の増額を

6月19日(金)10

新井 巧

1、病院問題(1)病院改革について

(2)現在の診療体制について

2、まるひろ問題まるひろビルの利用計画の検討状況等について

3、総合政策(1)安心して住み続けられる山間地域に

人口の減少、少子・高齢化への対応

山間地域再生条例の制定を

4、その他観光施設等

の条件整備を

6月19日(金)13・10

山田 利子

1、福祉問題(1)次世代育成支援行動計画、後期計画策定に向けた取り組みについて

(2)保育制度改革について

2、商店街問題(1)街路灯の電気代補助について

(2)空き店舗活用でにぎわいづくりを

6月19日(金)14・20

金子 敏江

1、市長の政治姿勢について

(1)県水問題

住民の不満をどう解決するのか

2、地域問題(1)未給水地域、共同給水維持管理費への助成制度の創設

(2)南高麗小学校区、対象外児童の通学バス利用について

3、福祉問題(1)日々の暮らしに寄り添って、身体障害者のタクシー券、自動車燃料費補助制度の改善を

(2)「成年後見人制度」を身近なものに

政治を賢く見る 絶好のチャンスです

総選挙が間近になりました。政治を変える絶好のチャンスです。日本共産党の議席を大きく伸ばしてください。

こんどの衆院選挙では2回投票します

1回目 小選挙区選挙は候補者名で投票します
小選挙区は候補者を立てません

2回目 比例代表選挙は政党名で投票します
「日本共産党」と書いていただければブロックごとの得票数に応じて党の議席数が決まり、名簿の順に当選します

北関東比例で議席確保を

日本共産党と書いていただく塩川さんとあやべさんが当選できます。候補者名では無効になります。

